

事業評価調書（新規）

部課室名	農 林 水 産 部 農 林 水 産 局 農 地 整 備 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 松 浦 猛 (課長補佐兼基盤整備係長 坊垣 昌明)	内線	4003 (4016)
------	-------------------------------------	---------------------	-------------------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	2.9億円
		基盤整備促進事業 【元気な地域づくり交付金】	江 野	内用地補償費	0.17億円
所在地			事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
豊岡市江野			H17	H17	H19
事業目的			事業内容		
平成16年の台風により甚大な被害を受けた地区であり、河川の災害復旧と連携した農地の復旧が望まれるため、未被災農地を含めて区画及び道水路整備を行い、農業の生産性向上、効率的・安定的な農業経営の確立を促進すると共に、再度災害の防止を図る。 事業主体：豊岡市			区画整理 16.0ha 工事費の負担割合 [国50% 県30% 市13% 地元 7%]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	平成16年の台風23号により地区内を流下する一級河川大浜川等が氾濫し甚大な被害を受け、復旧が急がれる。 地区内の農地は狭小不整形で道水路も未整備であり、効率的・安定的な農業経営の確立を目指し平成18年度からの事業実施を予定していた。 農地及び河川の単独災害復旧ではなく、河川改修も含めた総合的な基盤整備を行うことにより、再度災害発生を防止する必要がある。				
(2)有効性・効率性	費用便益比 B/C = 1.09 所得償還率 12.0% 投資効率が1.0以上であり、事業としての効果が十分に期待できる。 同意率 100% (40戸 / 40戸)				
(3)環境適合性	工事で発生したコンクリート殻は、農道の路盤材としてリサイクルする。 小動物の生息域保護のため、生態系に配慮した水路を整備する。				
(4)優先性	地区内は甚大な被害を受けており、再度災害防止のため河川の災害復旧事業と連携した整備が求められているが、河川が平成17年度に工事着手するため、ほ場整備も平成17年度に前倒し着手が必要。 当地域では農産物直売施設「郷の朝市」がオープンし、地元の新鮮な農産物を安定的に供給するために基盤の整備が急がれる。				